

平成27年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会 結果報告書

招集通知日 平成28年3月25日
開催日時 平成28年3月29日(火) 18:00~19:00
開催場所 伊豆の国市商工会本所 2階会議室
出席者数 28名
欠席者数 7名(内 監事0名)
出席役員氏名 別添 理事会出席名簿
司会者氏名 松下泰孝(事務局)
議長氏名 大沢秀光(会長)
議事録作成
役員氏名 秋田辰彦(副会長)

中小企業診断士・塩野富佐男氏、伊豆の国市経済環境部長・萩原智至氏、伊豆の国市経済環境部農業商工課商工係長・清水重貴氏、同席のもと行われた。

①27年度本会経営発達支援計画事業の実績報告

27年度伴走型小規模事業者支援推進事業(補助金)実績報告

- ・松下経営指導員より経営発達計画事業の取り組み内容について「実行」と「事務局評価」、「事務局改善」について報告を行った。(資料1-1)
併せて「報告一覧表」の定量報告を行った。(資料1-2)
- ・27年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の実施報告が行われた。
3月3日実績報告書提出(283万円)の説明を行った。

②27年度本会経営発達支援計画事業の評価・改善

大沢会長

ア. 定量目標、定性目標の達成は、評価できると総括した。

萩原伊豆の国市経済環境部長

ア. 評価の「好評」はランク付けの提案、5段階とか。

イ. 顧客満足度ではないが会員等に対してCSの実施とか。

ウ. 高齢者生活支援事業は非常に希望する。

エ. 創業者支援は市も産業競争力強化法のもと、連携して支援していきたい。

塩野中小企業診断士

ア. 計画的に事業が行われ、評価する。

イ. 定量目標については、おおむね達成され、また、それ以上もあり、評価する。

ウ. 事務局の評価の「好評」の表現は、客観性が必要。

- エ. 可能ならば、アンケート調査で、定量、定性の評価もしては。
- オ. 小規模事業者に対しては、取り組み事例の紹介もいいのでは。
- カ. 今後、国の動きとして、個社支援を重視し、集団支援はマッチングに力を入れている。地域経済の活性化はイベント集客人数等ではなくて、個々の支援へのフィードバックが求められている。伊豆の国市商工会の経営発達計画の事業も引き続き頑張ってもらいたいと総括した。

③その他（関連事項）

- ア. 28年度伴走型小規模事業者支援推進事業（補助金）申請
 - ・松下経営指導員より申請内容、申請金額（351万円）の説明を行った。

- イ. その他 発達計画に関して特になし。

終わりに、大沢会長は、発達計画の各委員の評価、改善を踏まえ、今後も理事会等で再検証しながら、28年度も計画を推進したいと意見を述べた。